生きる

菊池市立菊池北中学校　学校だより　No.15
2026.8.28　文責　岩谷　寛

一家仁に興れば一郷仁に興る。
一家譲に興れば一郷譲に興る。



残暑お見舞い申しあげます

とうとう夏休みが終わりました。気付いたらあっという間だったなと思います。前期前半のしめくくりでは"この夏、不思議と感じる感性を大切に多くの発見をしてください"という話をさせてもらいました。みんなは、どんな発見と出会いましたか？

私はこの夏、実に多くの新たな発見と出会えました。菊池市の歴史探訪は本当に勉強になりました。北中と菊池一族の関係や、先人たちが残した功績の偉大さなど多くのことを知れてよかったです。また、日本を離れ外国の文化にも触れてきました。それぞれの国のよさがあると思いますが私はあらためて日本の素晴らしさをかみしめることができてよかったなと思いました。みんなの夏の発見も聞かせてくださいね～♪

前期後半のスタートに際を迎えるにあたって、今日は少し難しい話になりますが、北中と密接な関係にある話なので、退屈せずに聞いてください。スライドを使って話したいと思います。

この人を覚えていますか？交通安全教室の時に少しだけ紹介した人です。二宮尊徳（二宮金次郎）の銅像ですね。あの時は、「ながらスマホ」との関連で話したと思います。さて、金次郎少年ですが、何の本を読んでいるのでしょう。それは、**中国の古書である「大学」**という本です。実は、銅像には、少年が読んでいるページまで記されているそうです。**「一家仁なれば一国仁に興（おこ）り、一家譲（じょう）なれば一国譲に興り、一人（いちにん）貪戻（たんれい＝貪欲）なれば一国乱（らん）を作（な）す。其機（そのき）如此（かくのごとし）」**と読みます。「一家が思いやりや慈しみの心を持てば、国中の人々がその心になり、一家に謙虚な気持ちが満ち溢れれば、国中の人々がその心となる」と訳されます。一言でいえば、**家庭にも、国においても、思いやりや謙虚な心が必要**であるという意味です。ここでいう「家庭」や「国」を、**「学級」や「学校」に置き換えることもできるかな**と思います。



さて、この言葉、どこかで見覚えはないですか？実は、**北中七則の6番目**に、同じような文が記されています。**「一家仁に興れば、一郷仁に興る。一家譲に興れば、一郷譲に興る。」**「国」が「郷（さと）」に変わっただけです。**二宮金次郎と北中のつながり**を感じますよね。

別の話をします。この夏休みに、北中北小の先生方と、北中校区のフィールドワークに出かけました。菊池一族に縁のある場所を中心に巡りました。この写真は、孔子堂跡（こうしどう・くじどう）で、高野瀬公民館の横にあります。この**孔子堂を建立したのは、菊池氏第21代菊池重朝公**です。この人の時代に、**「菊池万句」**という連歌の会が開催されました。みんなも馴染みのある「万句のふるさと菊池」はここに由来します。

孔子堂と言えば、やはり「孔子」の話になりますが、論語のひとつを紹介します。**「子曰く、其れ恕か。己れの欲せざる所、人に施すこと勿れ。」**解釈はこうです。「弟子が尋ねます。ひと言で生涯これを行うべきことはあるでしょうか？先生がおっしゃいます。それは「恕」。他者への思いやりであろうか。自分が望まないことを他人に用いることがないことだ。」この漢字（「恕」）、読めますか？「じょ」と読みます。ゆる（す）とも読みます。**意味は、「思いやり」になりますが、さっき紹介した「仁」を一歩進めた「許す」という意味合い**も含みます。



今日みんなに伝えたかった事、それは**「仁」思いやりや慈しみの心、「譲」謙虚な心、そして「恕」寛容さ、優しさをもって生活していってほしい**ということです。みんなも知っている通り、7月28日午後4時27分、県南地域を中心に大規模な地震が発生し、県下広範囲で甚大な被害がもたらされました。テレビではACジャパンのCMが多く使われていたのに気づきましたか？今回も以前使われた**CM「思いをカタチに」**を紹介して、私の話を終わります。

自分の命を、そして自分の周りにいる尊い人たちの命を大切にしながら、力強く今を生きていきましょう。いのちいっぱいに生きていきましょう。終わります。

（8月25日　校長挨拶）